

【要保存】

毎日持ってくる学習用具は、

大津市立真野小学校

基本の学習用具 (推奨)

みなさんの学習をしっかりとしたものにする大切な物です

学習にほんとうに必要な物かどうか見直してみましょう。

【学校の学習に必要な筆記用具について】

①シャープペンシルは、どの学年も使わない。

小学校の間は筆圧（字を書くのに必要な力の入れ具合やバランス）を安定させる練習もかねています。しんのやわらかい濃いえんぴつが適しています。3本の指でしっかりとえんぴつを持ち、濃く書くことで指先から刺激が脳に伝わるのです。

②毎日えんぴつをけずってくる。

必ず家からけずってくるようにしましょう。学習のかまえ（さあ、今日も学習をがんばろう！）をつくることにもなります。

③赤えんぴつ（赤ペン）は必ず持ってくる。

- 1～3年 赤えんぴつ
- 4年 赤えんぴつ →先生の指示があれば赤ボールペン
- 5、6年 赤えんぴつ、赤ボールペン ※蛍光マーカーは持ってこない。

赤えんぴつ（赤ペン）は、答え合わせの丸付けや大切な言葉を囲んだり書いたりします。

④消しゴムは形のシンプルな消しやすい物を使う。

美しいいねいな字を書くのに、使いやすく字がよく消えるものが基本です。

⑤下じきを使ってノートに字を書く。

美しい字を書くために、きちんと下じきを使います。

⑥ふでばこにキーホルダーなどをつけない。

シャープペンやカラーペンと同様に、学習に集中できなかつたりトラブルのもとになります。

⑦定規は透明でメモリがはっきり見える物を使う。

わかりやすく見やすいノートづくりに大切な定規です。透明で、メモリのはっきりした物を使います。折れ曲がるタイプは使いません。

学習に集中できる環境をととのえて自分の力を伸ばしましょう！

【ふでばこの中身】

- 消しゴム（シンプルで消しやすいもの）
- 2BかBかHBのえんぴつ5本
- 赤えんぴつ（高学年は赤ボールペン）
- 黒のネームペン
- 長さ15cmぐらいの定規

一つ一つに名前
を書いておきま



【ふでばこのかたち】
〈箱型〉



〈ポーチ型〉



【ふでばこについて】

- 1・2年生・・・学習用具の管理が自分でもしやすいう、箱型のふでばこを使います。
- 3年生以上・・・物の管理ができるようになったらポーチ型のふでばこを使ってもかまいません。物の管理ができるようになるまでは、箱型の物を使いましょう。

※ 色鉛筆、はさみ、のり、(クレヨン) など → いつでも使えるように持ってきておきましょう。

30cmものさし、三角定規、コンパス、分度器 → 必要なときに持ってきておきましょう。